

事業計画書及び収支見積書

年 月 日 現在

- 1 事業全体計画（業務を行う時間、従業員、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

業務時間	:	～	:	従業員数	人	休業日

- 2 使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	年度実績 (3年前)	年度実績 (2年前)	年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	台	台	台	台
主な取引先				

- 3 破砕実績

年 度	年度実績 (3年前)	年度実績 (2年前)	年度実績 (1年前)
年間処理実績	台	台	台
年間稼働日数	日	日	日
平均処理実績	台/日	台/日	台/日

- 4 破砕能力

1日当たり処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
台/日	日	台

5 保管の状況

解体自動車		A S R	
保管量の上限	台(m ³) (台)	保管量の上限	m ³ (m ³)
現在保管量	台(m ³) (台)	現在保管量	m ³ (m ³)

※事業場以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で（ ）に記入すること。

6 年間収支見積書

年 月 日 現在

項 目		前年度 (年)		今年度の見込み	
		(決算月 (月))		(決算月 (月))	
		年度 (千円)	1台当たり (円)	年度 (千円)	1台当たり (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)				
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)				
その他の経費	ウ				
	うち廃棄物 処理委託費	エ			
営業利益	オ =ア-イ-ウ				
営業外損益	カ (主に支払利息 (注))				
経常利益	キ =オ+カ				
解体自動車等年間引取台数			台		台
解体自動車等年間処理台数			台		台

(参考)

	前年度末	現在
負債総額 (年度末残高) (千円)		

(注) 1 「1台当たり」の額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で除すること。

2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上すること。